ＨＩＦ２Ｅ－※※Ｄ－２．５４Ｒ※

圧接治具

取扱説明書

ヒロセ電機株式会社
HIROSE ELECTRIC CO.,LTD.

はじめに

このたびは，ＨＩＦ２Ｅ－※※Ｄ－２．５４Ｒ※用圧接治具、ＨＩＦ２Ｅ－ＧＰおよびＨＩＦ２Ｅ－※※ＰＢをご購入頂きまして誠にありがとうございます。
本工具は、ＨＩＦ２Ｅ－※※Ｄ－２．５４Ｒ※の圧接を行なう治具です。
ご使用の前に必ず本書を良くお読み頂き十分理解の上、正しくお使い頂きますようお願い致します。

ご注意

（１）　本書の内容の一部または全部を無断転載することは固く御断りします。
（２）　本書の内容については，将来予告無しに変更する事があります。
（３）　本書の内容については，万全を期して作成いたしましたが，万一ご不審な点や誤り，記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡下さい。
（４）　当社では、本製品の運用を理由とする損失，逸失利益等の請求につきましては（３）項に関わらず責任を負いかねますのでご了承下さい。
（５）　本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または、ヒロセ電機株式会社以外の第三者により修理･変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承下さい。
（６）　海外においては、本製品の保守・修理対応をしておりませんのでご承知下さい。

ヒロセ電機株式会社　１９９９

目次

第１章　仕様と構成　2

１－１　適合コネクタ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
１－２　適合治具および各部名称　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

第２章　接続回路図　4

第３章　作業手順　5

３－１　作業前準備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
３－２　結線作業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
３－３　結線作業後の製品取扱い注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

第４章　保守と点検　8

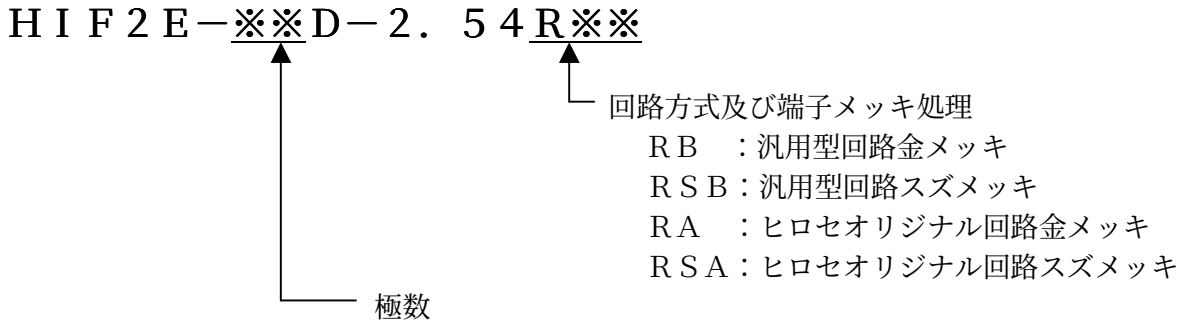
４－１　取扱い上の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
４－２　日常のお手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

第１章　仕様と構成

１－１　適合コネクタ

適合コネクタは下表に示す通りです。

ＨＲＳ　№	製品名	ＨＲＳ　№	製品名
CL561-0601-1	HIF2E-10D-2.54RB	CL561-0651-0	HIF2E-10D-2.54RSB
CL561-0602-4	HIF2E-14D-2.54RB	CL561-0652-2	HIF2E-14D-2.54RSB
CL561-0603-7	HIF2E-16D-2.54RB	CL561-0653-5	HIF2E-16D-2.54RSB
CL561-0604-0	HIF2E-20D-2.54RB	CL561-0654-8	HIF2E-20D-2.54RSB
CL561-0605-2	HIF2E-26D-2.54RB	CL561-0655-0	HIF2E-26D-2.54RSB
CL561-0606-5	HIF2E-30D-2.54RB	CL561-0656-3	HIF2E-30D-2.54RSB
CL561-0607-8	HIF2E-34D-2.54RB	CL561-0657-6	HIF2E-34D-2.54RSB
CL561-0608-0	HIF2E-40D-2.54RB	CL561-0658-9	HIF2E-40D-2.54RSB
CL561-0609-3	HIF2E-50D-2.54RB	CL561-0659-1	HIF2E-50D-2.54RSB
CL561-0610-2	HIF2E-60D-2.54RB	CL561-0660-0	HIF2E-60D-2.54RSB
CL561-0501-7	HIF2E-10D-2.54RA	CL561-0551-5	HIF2E-10D-2.54RSA
CL561-0502-0	HIF2E-14D-2.54RA	CL561-0552-8	HIF2E-14D-2.54RSA
CL561-0503-2	HIF2E-16D-2.54RA	CL561-0553-0	HIF2E-16D-2.54RSA
CL561-0504-5	HIF2E-20D-2.54RA	CL561-0554-3	HIF2E-20D-2.54RSA
CL561-0505-8	HIF2E-26D-2.54RA	CL561-0555-6	HIF2E-26D-2.54RSA
CL561-0506-0	HIF2E-30D-2.54RA	CL561-0556-9	HIF2E-30D-2.54RSA
CL561-0507-3	HIF2E-34D-2.54RA	CL561-0557-1	HIF2E-34D-2.54RSA
CL561-0508-6	HIF2E-40D-2.54RA	CL561-0558-4	HIF2E-40D-2.54RSA
CL561-0509-9	HIF2E-50D-2.54RA	CL561-0559-7	HIF2E-50D-2.54RSA
CL561-0510-8	HIF2E-60D-2.54RA	CL561-0560-6	HIF2E-60D-2.54RSA



１－２　工具形状および各部名称

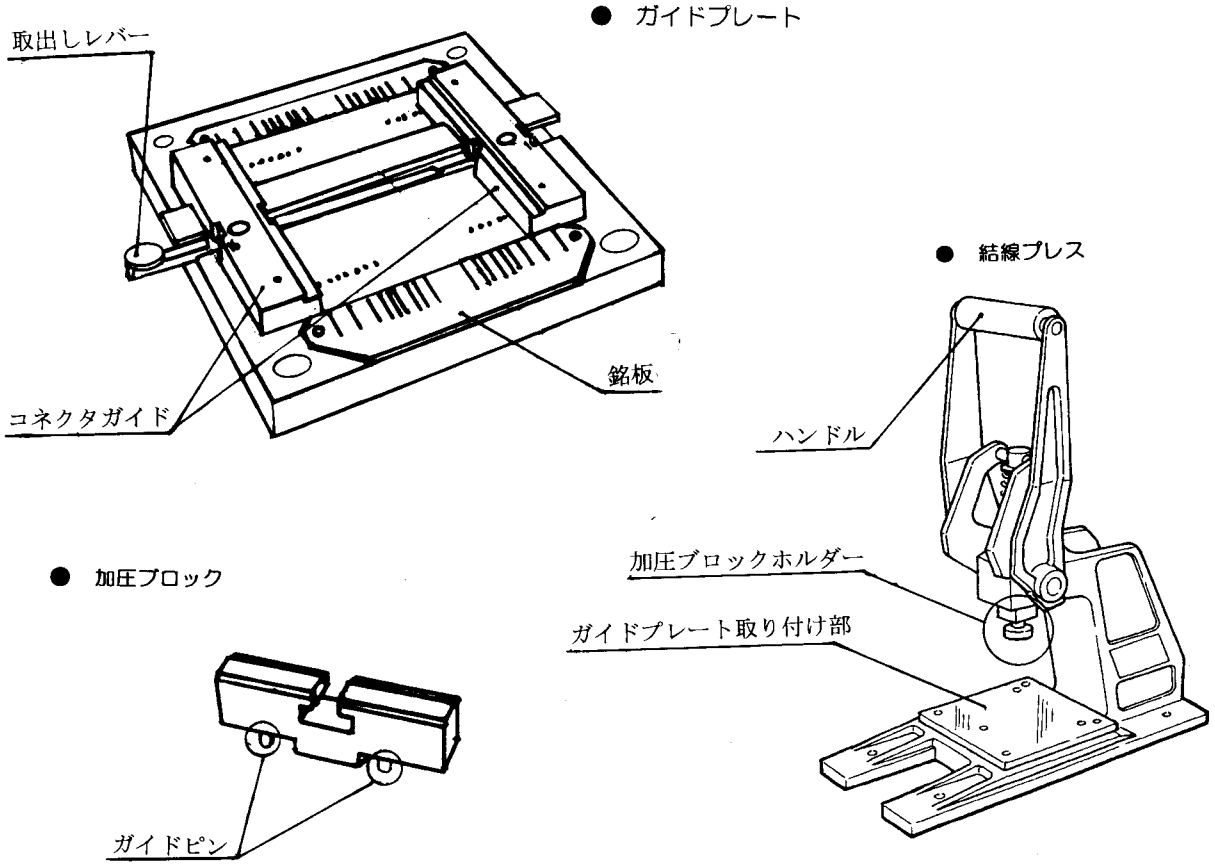
治工具類	製品名	ＨＲＳ　№	備考
結線プレス	HIFLEX 結線プレス HHP５０２	CL　５５０－００８２－２	
ガイドプレート	ＨＩＦ２Ｅ－ＧＰ	CL　５５０－０１８５－５	全極数兼用
加圧ブロック	ＨＩＦ２Ｅ－１０ＰＢ	CL　５５０－０１８６－８	１０極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－１４／１６ＰＢ	CL　５５０－０１８７－０	１４極、１６極兼用
	ＨＩＦ２Ｅ－２０ＰＢ	CL　５５０－０１８８－３	２０極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－２６ＰＢ	CL　５５０－０１８９－６	２６極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－３０ＰＢ	CL　５５０－０１９０－５	３０極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－３４ＰＢ	CL　５５０－０１９１－８	３４極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－４０ＰＢ	CL　５５０－０１９２－０	４０極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－５０ＰＢ	CL　５５０－０１９３－３	５０極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－６０ＰＢ	CL　５５０－０１９４－６	６０極専用
	ＨＩＦ２Ｅ－６４ＰＢ	CL　５５０－０１９５－９	６４極専用

【注意】

・ガイドプレート及び加圧ブロックは、当社製品以外のコネクタには使用出来ません。

・また当社結線プレスおよび附属品以外の結線プレスその他を使用した際のコネクタ結線品質は保証いたしかねますのでご注意ください。

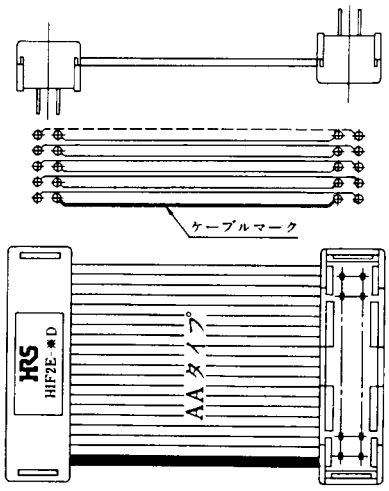
１－３　工具各部名称



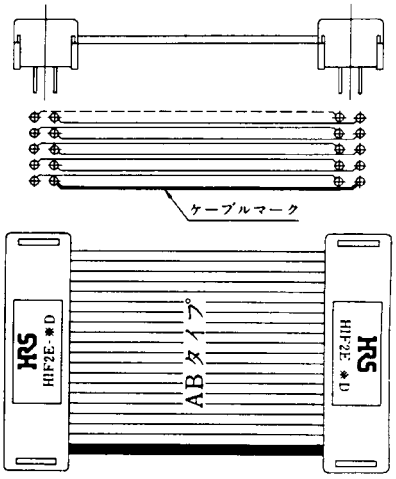
第２章　接続回路図

HIF2E-※D-2.54RB(RSB)

● AAタイプ

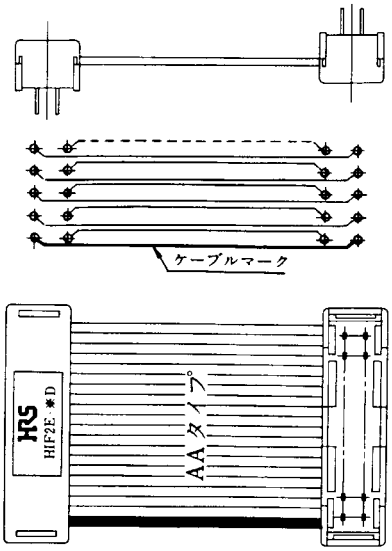


● ABタイプ

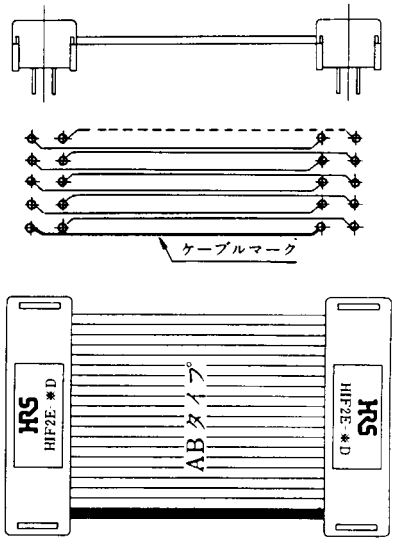


HIF2E-※D-2.54RA(RSA)

● AAタイプ



● ABタイプ



注）上図結線図のマーク及び文字の表示方向は任意です。

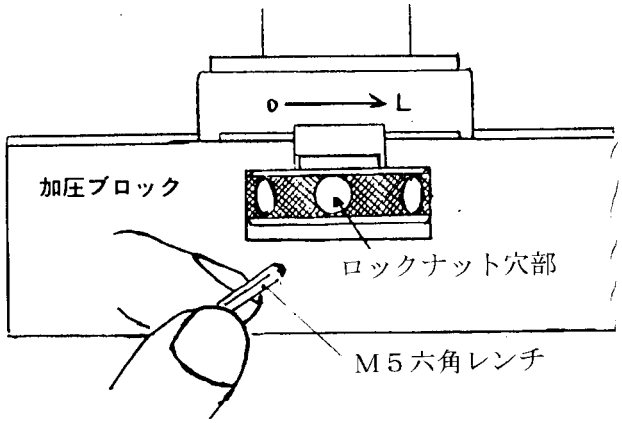
第３章　作業手順

３－１　作業前準備

①結線プレスの加圧ブロックホルダー凹部に
加圧ブロックの凸部を嵌め込んで下さい。

【注意】この時、加圧ブロックの品名表示面が作業者側に向くようにして下さい。

②Ｍ５六角レンチ（結線プレス附属品）を
ロックナット穴部に差込み加圧ブロック
ホルダーに表示されているＬ方向に回し
加圧ブロックを締め付けてください。
(Fig-1)

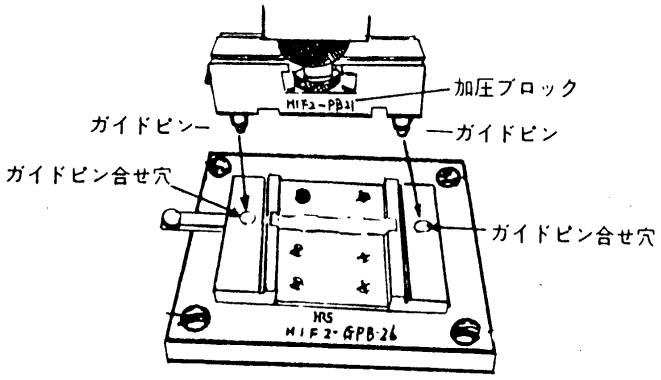


Ｆｉｇ－１

③結線プレスのガイドプレート取り付け部に
ガイドプレートの取り付け穴を合せて下さい。

④加圧ブロックのガイドピンがガイドプレート
の合わせ穴に合うまで結線プレスのハンドル
を降ろして下さい。

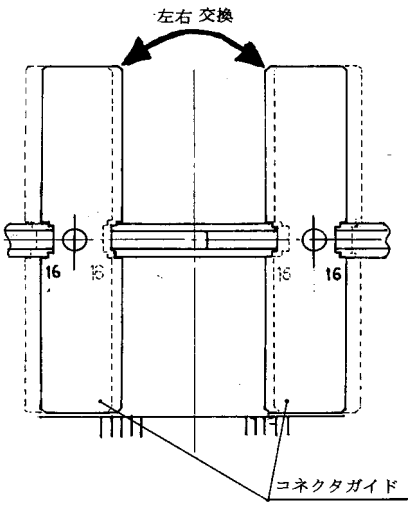
⑤ハンドルを軽く押したままの状態で、結線
プレスに附属の六角穴付きボルトを締めて
ガイドプレートを固定して下さい。(Fig-2)



Ｆｉｇ－２

⑥対象コネクタの芯数に合わせて、銘板の極数
位置の線とコネクタガイドの内側の線が合う
ところにセットして下さい。

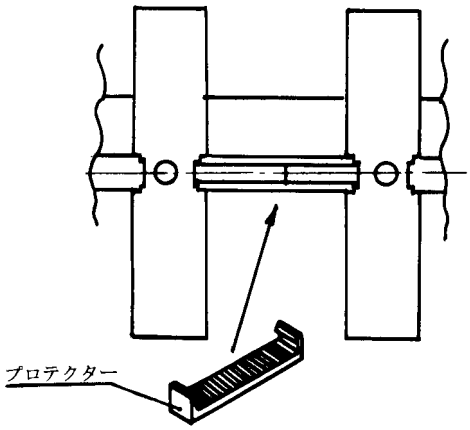
【注意】１６極のみ、コネクタガイドを左右交換した上で作業して下さい。(Fig-3)



Ｆｉｇ－３

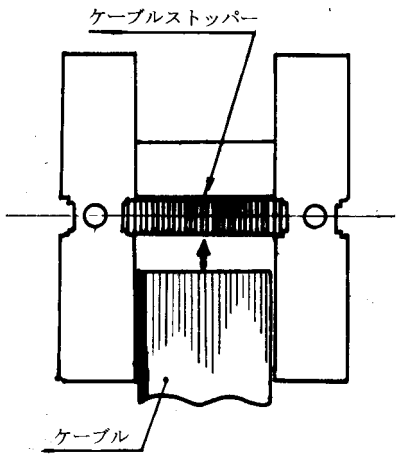
３－２　結線作業

①ガイドプレートにプロテクターをセット
して下さい。
セットする際、その方向はどちら向きでも
結構です。　(Fig-4)



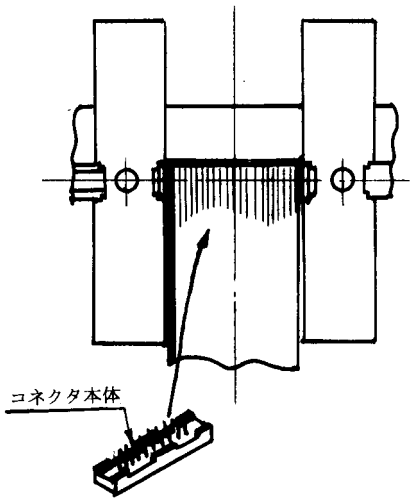
Ｆｉｇ－４

⑦ケーブルストッパーに突き当たる様にケーブル
をプロテクターの上にセットしてください。
セットする際、ケーブルマークでＡタイプ
Ｂタイプを決めてください。　(Fig-5)



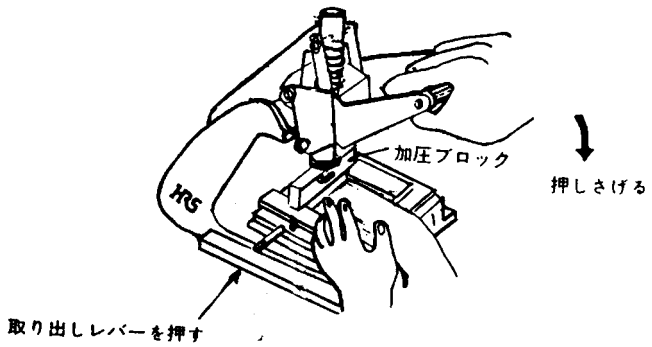
Ｆｉｇ－５

⑧コネクタ本体をケーブルの上からセットして
下さい。セットする際、その方向はどちら向き
でも結構です。　(Fig-6)



Ｆｉｇ－６

⑨結線プレスのハンドルを押し下げて結線を行ってください。
結線後コネクタを取り出すときは、ケーブルを引張って取り出さずに取出しレバー押してからコネクタを持って取り出してください。
(Fig-7)



Ｆｉｇ－７

３－３　結線作業後の製品取扱い注意

①一度結線されたコネクタ及びケーブルを再使用されますと不具合の原因となりますので使用しないで下さい。

②電気的導通・耐圧等のチェックは結線完了後必ず行ってっ下さい。

③本コネクタは端子が露出しておりますので、結線後の保管取扱いに注意して、ディップ部が変形・破損のないように取り扱ってください

第４章　保守と点検

4－１　治工具取扱い上の注意事項

①工具を叩いたり，高い所から落とすなどの衝撃は絶対加えないでください。

②本書に示す適合コネクタ☼ 適合ケーブル以外のものを絶対に圧接しないでください。

③ラッチェットが解除する前にハンドルを開くことは出来ません。

④工具に不具合が発生したときは、解体などせずそのままの状態で不具合内容を明示の上、弊社にお申し付けください。

4－２　日常のお手入れについて

①作業が終了した場合は、ホコリ，ゴミ，水分等を、柔らかい布等で清掃して下さい。

②ハンドル開閉の際、ハンドルがカジリ等無く滑らかに摺動することを確認してください。

【注意】　ホコリ，ゴミ等が治具に付着しますと，適正な圧接が出来なくなります。またそれらの異物がコネクタに付着する恐れがあります。

取扱説明書番号	
TAD-P5522	
発行年月	99 年　3 月
改定年月	年　月
版　数	初　版

ヒロセ電機株式会社
HIROSE ELECTRIC CO.,LTD

〒141　東京都　品川区　大崎　５丁目　５番　２３号
5-23,OSAKI 5-CHOME　SHINAGAWA-KU　TOKYO ,141　JAPAN

本製品に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

生産技術部　　〒２２２　横浜市港北区菊名　７丁目３番１３号
TEL 045(402)7725　　FAX 045(402)7861